

令和7年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



共に学び！共に生きる！



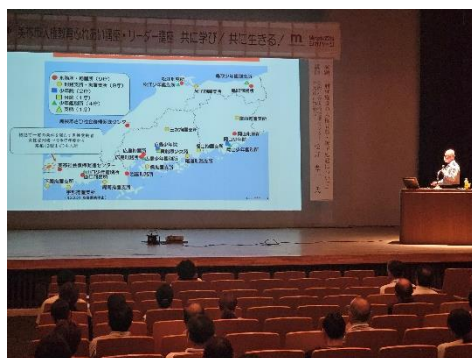
～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

【第1講座を開催して】

7月23日（水）、美祢市民会館大ホールにおいて、令和7年度美祢市人権教育ふれあい講座（第1講座）を開催しました。

『罪や非行を犯した人の問題』をテーマとして、美祢市社会復帰促進センター 首席矯正処遇官 松井 孝一（まつい こういち）氏から、「刑事施設の人権問題・矯正処遇について」と題して、御講演いただきました。

御講演では、美祢社会復帰促進センターの1日の流れや、全国各地にある他の施設との違い等の説明と、全国の刑事施設で実際に発生した人権問題の例を挙げながら丁寧に解説していただきました。施設内での問題だけでなく、出所した方の『その後』を支えるための取組は、社会全体で受け止めるべきものだと感じました。



【受講者の主な感想】

- 職業に対して、受刑者に対しての想いがわかるとてもよい話でした。松井さんのお話を聞いて良かったです。
- 今回の話で改めて人権は一人ひとりに存在している権利であるということを考え直すことができた。罪や非行を犯した人はたしかに刑務所で反省をしなければいけないと思うが、そこで人権侵害をしてしまうとその人は更生をしたくてもできなくなってしまうのではないかなと思う。このような人たちの人権を守っていくためには私たち自身が人権についてしっかりと考えていくとともに、誰にでもあるということを理解していくべきであるということ今回の講義で考えることができた。
- 人は認められることで、変わる可能性も大きくなると思いました。
- 刑務官の役割について改めて知ることができました。そこで更生しようと努力する人、更生させようと取り組まれる人、理解していきたいなと思いました。
- 人はさまざまな人生を歩む。その時代の社会や環境によって人生は変わるが変わってはいけないものがある。それは人権尊重の精神である。
- どんな人でも一人の人間。人権意識をもち続けることが大切だと学んだ。
- 初めて知ることが多くあり、興味深かったです。人権というものは例え罪を犯したとしても、

誰もが持っている権利であるということが、実例を通してよくわかりました。

- 目を背けたいくなるような悲しい事案（人権侵害）をお聞きするなかで、受刑者（犯罪者）に対しても1人の人間として、人権を尊重し、その人のバックグラウンドに目を向けながら寄り添って行くことが大切であると感じました。人の印象を勝手に決めてしまったり、ラベリングしてしまったりして一方的な指導を行うのではなく、その人の困り感に寄り添い、それらを取り除くことが事態の改善につながることは、私どもの職務である公教育でも共通していると感じました。本日はご講演をありがとうございました。
- 刑務所のイメージが変わりました。受刑者の人権を守ることが結果的に社会をよくするというお話が印象的でした。ただ罰を与えるのではなく、本人の特性に合った更生教育をするという取り組みは素晴らしいと思います。
- 受刑しておられる方が、罪を償い、再生していくためにも、人として尊重されることが大切で、そのことが再犯を防ぎ、新たな被害者を生まないことに繋がるのが改めてわかりました。職員の皆さんの崇高な理念が安心安全な社会を築いていると感じました。
- 最近いじめっ子こそケアが必要だと聞くことが多かったので、繋がっているんだなと思いました。
- 刑務官の方が社会復帰にむけての仕事もされていることなどがよくわかりました。興味深く、分かりやすいお話で勉強になりました。
- 名前の呼び方が変わったことや受刑者の特性を考慮して指導しているとのこと、不の連鎖などの話が印象に残りました。人と人がいれば、立場や考え方が違うのは当たり前との受け止めは、誰もが考慮しておきたいことだと思います。
- 社会復帰促進センターでの様子をお聞きして、受刑者にどのように向き合っておられるのかが、よくわかりました。ついつい、罪を償うという視点からは、人間扱いされないことが償うことなのかと思っていましたが、再犯を防止するという視点からは、人権尊重の考えが、大変大切であると感じました。
- これまで様々なテーマでこの講座を受けてきたが、一番印象に残る講演だった。「負の連鎖は社会の求める姿ではない」という言葉が胸に残った。刑務官という職務に関わる方の、冷静にして、強い思いの込められたお話で、このような実践をされている方の言葉こそ、真に迫るものだった。施設見学にもまた行きたいと思ったし、市内の中高生は一度行くべきではないかとも思う。
- 美祢市に住んでいて、この施設があることを知っていても、施設について知ったり、センター生の人権について考えたりする機会はなかなかありません。このような機会があって、参加でき、よかったと思いました。チャンスがあれば、「臭い飯」も食べ、更に施設やセンター生についても理解し、考えていきたいと思います。ありがとうございました。
- 刑務所の様子が分かり、イメージしていたことより変わってきていること、刑務官の方々のご苦労がよくわかった。再犯防止につながると思う。以前、見学と食事をさせていただきました。